

## 令和7年度第2回我孫子市子ども・子育て会議 会議概要

1. 開催日時 令和8年2月15日(日) 10:00~11:30

2. 開催場所 分館大会議室

3. 出席者

委員 箕輪会長、菅井副会長、増田委員、菅原委員、土山委員、布施委員、  
大島委員、小澤委員、野崎委員 以上9名  
(欠席:鈴木委員、中田委員 以上2名)

市職員 星部長、石山保育課長、鈴木子ども相談課長、三澤こども発達センター所長  
事務局 阿部次長(兼子ども支援課長)、高橋主幹、渡邊係長、成瀬、松永

4. 議題

(1) こども誰でも通園制度及び保育園等の利用定員について

(2) 第五次こども総合計画の変更について

(3) 第四次子ども総合計画の評価報告書について

5. その他

- ・第五次こども総合計画の進行管理表について
- ・子どもの意見聴取の実施状況・小学校の集計結果について
- ・委員改選について
- ・子育てセミナー及びすくすく学習会について
- ・ヤングケアラーに関するアンケートについて
- ・こども家庭センターについて

6. 配布資料

資料1 こども誰でも通園制度及び保育園等の利用定員

資料2 第五次我孫子市こども総合計画 令和7年度修正版(案)

資料3 我孫子市子ども・子育て会議における第四次子ども総合計画の評価報告書(案)

資料4 第五次我孫子市こども総合計画 進行管理表【次世代育成支援対策】(案)

資料5 子どもの意見聴取における集計結果及び意見について

- ・令和7年度我孫子市子育てセミナー
- ・第3回すくすく学習会の開催について
- ・こども家庭センターの設置について

7. 議事要旨

(議題までは子ども支援課長が議事進行を務める)

【子ども部長 星】

— 星部長挨拶 —

【事務局（阿部子ども支援課長）】

資料の確認、職員の自己紹介を行い、出席者9名により会議の成立を報告した。議事概要作成のため録音についての了承を得た。また、傍聴人2名を報告した。

それでは、この後の議事進行は、箕輪会長にお願いいたします。

【箕輪会長】

次第に沿って議事を進めます。

議題①「こども誰でも通園制度及び保育園等の利用定員について」事務局より説明をお願いします。

【石山保育課長】

— 議題①「こども誰でも通園制度及び保育園等の利用定員について」説明 —

■乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）についての説明

- ・子ども・子育て支援法第54条の2第3項により、子ども・子育て会議に諮る。
- ・令和7年度に児童福祉法上で制度化され、令和8年度から子ども・子育て支援法に基づく新たな給付制度として全国の自治体で実施する。
- ・本事業は、保育園等に通っていない0歳6か月から3歳未満の子どもを対象に、保育園や認定こども園・幼稚園等で月一定時間（10 時間）までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず預かりを行う制度である。
- ・本市においても、令和8年度から実施する予定で、実施予定施設は寿保育園。令和9年度以降については、寿保育園の実績を踏まえ、対応していく。

■保育園等認可定員・利用定員についての説明

- ・子ども・子育て支援法第31条第2項により、子ども・子育て会議に諮る。
- ・国が示してきた「定員を恒常的に超過する場合の対応」の中で、常に定員を超えており、かつ、各年度の年間平均在園率が120%以上の状態が5年間続いている保育園等には、認可定員の増員又は運営費の減額調整を行うこととされていた。しかし、全国の待機児童数が平成29年をピークに7年連続で減少し、令和6年度は平成29年度の10分の1以下になっている状況を踏まえ、令和7年度より2年間に変更され

た。これに伴い③我孫子市における利用定員の設定・算出方法についても、『直近3カ  
年の実利用人員実績の平均』を今年度より2カ年に変更した。

・令和8年度より、4園で利用定員を変更する予定である。

#### 《めばえ幼稚園》

我孫子市内では、教育需要が減少してきているため、めばえ幼稚園については、施設型  
給付幼稚園へ移行し、新たに利用定員を設定する。

施設型給付幼稚園とは、幼稚園としての良さや運営の自由度は維持したまま、施設型給  
付費によって経営基盤を築く施設。

利用定員は、3歳児から5歳児までの3クラスで各30人ずつの合計90人。

#### 《川村学園女子大学附属保育園》

恒常的に定員を超過していることから、認可定員及び利用定員を90人から120人に変  
更する。

#### 《布佐宝保育園》

利用人数が減少してきていることから、保育認定の2号及び3号の定員を10人減らし、  
利用定員を95人から85人に変更する。

#### 《ひかり幼稚園》

保育需要が高いため、保育認定2号の定員を10人増やし、利用定員を170人から180  
人に変更する。

・今回の定員の変更は、実情に合わせた適切な変更である。

#### 【箕輪会長】

ご意見やご質問はありますか。(質疑・回答なし、承認)

続きまして、議題②「第五次子ども総合計画の変更について」事務局より説明をお願い  
します。

#### 【事務局(高橋主幹)】

— 議題②「第五次子ども総合計画の変更について」説明 —

資料2をご覧ください。令和8年度から国において、新たな取組として「子ども誰でも通園  
制度(乳児等通園支援事業)」と「満三歳以上限定小規模保育事業」が開始されること  
に伴い、市の子ども計画に盛り込むべき内容が国より提示されました。

今回の計画の変更は、この国からの通知に沿って、計画書の不足部分を追記する修正です。

本計画の変更にあたりましては、子ども・子育て支援法第61条において、その内容について、あらかじめ、子ども・子育て会議の意見を聴くことと、県に協議しなければならないことが定められています。

委員の皆さまには、11月中旬にメールにてお知らせし、事前に内容の確認をお願いしていますが、ご意見はありませんでしたので、この内容で、ご承認いただけますでしょうか。

#### 【箕輪会長】

ご意見やご質問はありますか。(質疑・回答なし、承認)

それでは、子ども・子育て会議で承認されましたので、県との協議を進めてください。

続きまして、議題③「第四次子ども総合計画の評価報告書について」事務局より説明をお願いします。

#### 【事務局(高橋主幹)】

— 議題③「第四次子ども総合計画の評価報告書について」説明 —

資料3をご覧ください。令和6年度をもって、第四次計画の計画期間が終了したことから、今年度は、第四次計画の5年間の総合評価について、報告書を作成し、市長へ提出します。

皆さまからいただいたご意見をもとに、評価報告書を修正しました。この内容で、子ども・子育て会議における評価報告書とし、市長や所管課へ提出したいと存じます。

#### 【箕輪会長】

ご意見やご質問はありますか。(質疑・回答なし)

次に、次第の3.その他について、事務局より説明をお願いします。

#### 【事務局(松永)】

— その他「第五次子ども総合計画の進行管理表(案)について」説明 —

資料4をご覧ください。第五次子ども総合計画の進行管理表(案)を作成しました。

第四次計画の進行管理表を踏襲しつつ、子どもの意見聴取の項目を加えています。

所管課で令和7年度の実績を記入し、来年度の会議の資料として使用します。

### 【事務局（渡邊）】

— その他「子どもの意見聴取について」説明 —

今年度、市では、第五次こども総合計画に基づき、「こどもまんなか社会」の実現を目指し、市内すべての小学校児童を対象に、イベントに関する意見聴取を実施しました。模造紙にシールを貼ってもらうシールアンケートを実施し、ふせんに意見をかいてもらうことで、子どもたちの率直な意見やアイデアを収集しました。

子どもたちから寄せられた意見は、報告書にとりまとめましたので、ご覧いただけますと幸いです。来年度は、中学校の生徒を対象に、ボランティアに関するアンケートを実施する予定です。

アンケート結果につきましては、市が行うイベントのほか、市内の施設を管理・運営するまちづくり協議会や指定管理者などにも共有し、事業展開の参考にさせていただくことで、子どもたちへのフィードバックや意見反映につなげていきたいと考えています。

### 【箕輪会長】

進行管理表案と子どもの意見聴取について、ご意見やご質問はありますか。

私から、一点よろしいでしょうか。

子どもの意見聴取についてです。報告書に、アンケートの周知は学校ごとに異なるとありました。こども総合計画の概要はパネルで展示したようですが、子どもから意見を聴くことの意義などについても、パネル展示を行ったのでしょうか。

### 【事務局（渡邊）】

子どもの意見聴取の意義についても、子どもたちに伝わる内容で作成し、パネル展示を行いました。ただパネルを展示するだけでは伝わりにくいと思いましたが、学校にも協力を依頼しました。学校ごとに手法は異なりますが、子どもの意見聴取の意義や取組内容を校長先生が全校集会で話してくださった学校もありますし、校内放送で伝えてくださった学校もあります。また、児童会を介して、子どもの意見聴取に取り組んだ学校もあります。まず、私たちが児童会に内容の説明をし、児童会から全校児童に説明をして、子どもたち主体で意見聴取に取り組みました。

### 【箕輪会長】

ありがとうございます。

まず、市から学校へ子どもの意見を聴くことが重要であるということを伝えることが大切だと思います。市では、今回このようなアンケートを実施しましたが、子どもたちにとっては

学校が最も身近な場所ですので、普段の学校生活の中でも、子どもたちが「意見を言えるんだ」「意見を聴いてもらえるんだ」と思える取組を行っていただきたいと思います。

次に、もう一点です。このようなシール式のアンケートを実施した場合、多数の意見が施策に反映されることが多いように思います。報告書に少数意見も載せていただいているように、子どもたちが「少ない意見は無駄」だと感じてしまわないよう、「少ない意見でも伝えていい」と感じられるような取組を進めていただきたいと思います。

他に、どなたかご意見やご質問はありますか。

#### 【土山委員】

報告書の3ページを見ますと、学校の規模の割には、意見が多い学校と、逆に、意見が少ない学校があるように思います。

学校によって周知の方法が異なったようですが、子どもたちの意見をたくさん集めたいのであれば、たくさん集まった学校の手法を調べる必要があるのではないかと考えます。いかがでしょうか。

#### 【事務局（渡邊）】

各学校と調整をして決めましたが、実施時期や掲示場所などに違いがありました。

授業の時間を使って、クラスごとにシールを貼ってくれた学校もあれば、授業中は難しいので、休み時間に実施したという学校もあり、そのような取り組み方の違いが意見の数に影響しています。また、「シールは一人一枚」というルールを設けなかったため、複数枚貼ってくれた児童が多い学校は、意見数が多くなっています。

#### 【土山委員】

もう一点よろしいでしょうか。集計結果についてですが、どのように反映されたのかということ子どもたちにはどのようにフィードバックする予定でしょうか。

#### 【事務局（渡邊）】

アンケートを実施した後、まずは、学校ごとにアンケート結果をとりまとめ、学校内での掲示を行いました。集計結果はイラストやグラフなどを用い、カラー刷りで、子どもたちにも伝わりやすいように作成しました。

また、我孫子市では毎年たくさんのイベントを開催していますので、担当課へ報告書を共有し、イベントの内容を検討する際の参考にしてもらいたいと考えています。

新しいイベントを開催するには、予算などの調整に時間がかかってしまいますので、既存のイベントの中で、子どもたちの意見やアイデアを取り入れた企画を検討の方が実効性が高いと考えます。

子ども支援課でも、げんきフェスタとあびこ子どもまつりを所管していますので、それぞれの実行委員会にも共有し、検討していきたいと思います。

#### 【事務局（成瀬）】

（各学校に掲示したアンケート結果を見せながら）

このようなかたちで、子どもたちにも、目で見ても、アンケートの結果がわかるようにとりまとめ、掲示を行いました。

#### 【土山委員】

子どもたちは、子ども議会でもそうですが、自分の意見がどのように反映されたのかがわかると喜ぶと思いますので、よろしくお願いします。

#### 【事務局（渡邊）】

事務局としても、アンケートを実施するだけで終わらないよう、その結果を子どもたちにわかりやすく伝えていきたいと考えています。ありがとうございました。

#### 【箕輪会長】

他に、ご意見やご質問はありますか。

それでは、委員の改選について、事務局より説明をお願いします。

#### 【事務局（成瀬）】

子ども・子育て会議委員の任期は令和8年3月31日までですので、このメンバーでの会議は今回が最後となります。

今年度は委員改選の手続きを進めており、各所からの推薦書や公募の委員が揃いましたので、報告いたします。

菅井委員、鈴木委員、布施委員、土山委員におかれましては、次年度も引き続きよろしくお願いいたします。4月に委嘱状をお送りし、来年度の会議の日程調整を行います。

#### 【箕輪会長】

続きまして、こども発達センターと子ども相談課からの連絡、報告事項です。

**【三澤こども発達センター所長】**

— 「こども発達センターの取組について」説明 —

- 令和7年度我孫子市子育てセミナーについて
- 第3回すくすく学習会について

**【箕輪会長】**

次に、子ども相談課からお願いします。

**【鈴木子ども相談課長】**

— 「子ども相談課の取組について」説明 —

- ヤングケアラーに関するアンケートについて
- こども家庭センターの設置について

・令和8年4月1日に、子ども相談課内に設置し、同時にイトーヨーカドー我孫子駅南口（アビイクオーレ2階）に出張窓口を設置する。

・健康づくり支援課が実施する「母子保健機能」と子ども相談課が実施する「児童福祉機能」が結びつき、一体的な組織として、包括的な支援を行う。

**【箕輪会長】**

こども発達センターと子ども相談課にご質問やご意見がある方はいらっしゃいますか。

私から一点よろしいでしょうか。

子育てセミナーやすくすく学習会を Youtube 配信されるということで、とても届きやすい方法だと思いました。子育てセミナーを視聴された方に対し、視聴後に何か相談したいと思ったときの連絡先は示されていますか。

**【三澤こども発達センター所長】**

こども発達センターが担当だということはわかると思いますが、相談先としては示していませんので、今後検討したいと思います。

**【箕輪会長】**

視聴された方が相談機関とつながる機会になればよいと思いますので、よろしくお願いします。

他にご意見やご質問はありますか。

**【大島委員】**

近年、支援学級に通う児童が増えています。先生とは面談などでつながっていますが、保護者同士の横のつながりがないと感じています。小学生になると、保育園に通っていた頃よりも、保護者同士のつながりがなくなります。私自身も悩みながら子育てをしていて、先ほど市民向けの研修会の実施を予定しているのご説明がありましたが、小学生の保護者も参加しやすく、子育てについて学べるセミナーがあると、悩みを持った保護者同士がつながるよい機会になると思います。

**【三澤こども発達センター所長】**

こども発達センター、子ども相談課、教育相談センターが事務局となり、療育・教育システム連絡会という会議を開催しています。その会議の中で、今いただいたご意見を共有したいと思います。

**【鈴木子ども相談課長】**

虐待防止研修会の内容は、子どもへの関わり方や子育ての仕方などを考えていますので、参加しやすい名称を検討したいと思います。

**【箕輪会場】**

他に、ご意見やご質問などはありますか。

**【小澤委員】**

こども家庭センターをアクセスが良い場所にとということで、イトーヨーカドー我孫子駅南口（アビイクオーレ）に設置するというお話がありましたが、子育て支援センター、広場や我孫子駅前妊娠・育児相談窓口があるフロアに設置されるという理解でよろしいでしょうか。

**【鈴木子ども相談課長】**

はい、そうです。

**【小澤委員】**

私は、こども発達センターや教育相談センター、子育てコンシェルジュなど、いろいろな相談窓口を利用していますが、アビイクオーレ2階の相談窓口には行ったことがありません。なんとなく入りにくい、行きにくい雰囲気があるように思いますので、もう少し相談しやすい窓口になるといいと思います。

【鈴木子ども相談課長】

以前は、何か相談したいと思ったときに、電話をかけるか、子ども相談課の窓口を訪問するしかありませんでしたが、よりアクセスしやすい相談窓口として、LINE 相談窓口を開設しました。今度は、アクセスしやすい場所にある相談窓口として、アビクオーレ2階にこども家庭センターを設置します。

今いただいたご意見を踏まえ、子育て支援センターや広場などとも連携し、相談しやすい雰囲気づくりを心がけたいと思います。

【石山保育課長】

以前は、消費生活センターも近くにあったため、入りにくい雰囲気があったのかもしれませんが。今は子どもの相談を受けられる環境が以前よりも整っていると思います。

【箕輪会長】

それでは、本日予定していた議題はすべて終了しました。

本日は傍聴の方がいらっしゃいますので、発言があれば、一人につき、一回とし、三分以内でお願いします。

【傍聴人】

・資料を事前に配付することで、説明がほとんどない議題も多かったが、資料を当日配付し、詳しい説明が聴ける方が傍聴人にとってはありがたい。

・こども家庭センターの愛称を『かるがも』にするとの話があったが、かるがもは子育てを雌のみで行い、雄は子育てに関わらないとある。愛称として適切か。子どもにもわかりやすく、ひらがな表記にするという発想はいいが、愛称を「こどもまんなか」などにしてもいいのではないか。

・子育てセミナーを Youtube 配信とし、ショート動画で構成したのは見やすくよい。

・市民協働推進課が職員向けに実施していた多様性に関する研修を市民向けに講演会として開催し、とてもわかりやすい内容だった。セミナーや学習会を企画する際は、市民にもわかりやすい内容にしてほしい。

【箕輪会長】

ありがとうございました。

これで、令和7年度第2回我孫子市子ども・子育て会議を閉会とします。

～ 終了 ～